

一般質問の質問者順番と質問事項

(平成30年第3回 定例会)

質問順位	11 3番議員 末次 明	
質問事項1	豪雨発生など自然災害時の避難対応・安否確認について	
質問の要旨	7月6日に基山町は、大きな豪雨災害に見舞われた。「安心安全のまちづくり」を進めていくには、しっかりと災害を検証し、教訓としなければならない。被災当日及び今後の避難対応・安否確認について問う。	
具体的な質問 及び 質問の相手	<p>(1) 7月6日の豪雨当日、警報等の避難情報（避難所開設・避難勧告・避難指示等）の発令は、決められたマニュアルどおりに行われたのか</p> <p>(2) 災害時、いかに危険区域にいる全住民を安全な場所に避難してもらうかに苦心されたと思うが、避難情報発令時期、避難所開設時期について、町長の考えは</p> <p>(3) 7月6日当日に一番不安だったのは、危険区域の住民の安否確認だった。一人で避難できない高齢者や要介護者、そして、避難しない住民に対して避難してもらうための対応策はあるか。 町主体で安否確認システムを構築する予定はないのか</p> <p>(4) 町役場4階倉庫で備蓄している非常時食料・水は、何人分を備蓄しているのか。今回使用した数量は、どれくらいか。購入費用の総額はいくらか。今回の避難所開設で場所や毛布等も含め、反省点はあるか</p>	<p style="text-align: right;">町 長</p> <p style="text-align: right;">町 長</p> <p style="text-align: right;">町 長</p> <p style="text-align: right;">町 長</p>

一般質問の質問者順番と質問事項

(平成30年第3回 定例会)

質問順位	11 3番議員 末次 明	
質問事項2	基山町の今後の自然災害への取組について	
質問の要旨	<p>7月6日の豪雨災害からの復旧は、これからの町の中山間地にある集落のあり方、農林業のあり方、そして町のシンボリック的存在である国の特別史跡である基肆城跡・きざんの存続にかかわる大きな課題である。復旧が個人や地域住民だけでできるものでなく、国・県、そして町の支援が必要である。何よりも、町民の理解を得て「安心安全のまちづくり」をしなければならない。</p>	
具体的な質問 及び 質問の相手	<p>(1) 町には今回被災が集中した丸林地区と同じような危険な地域が多数ある。町長として今後、中山間地域の住民の生命を守り、集落をどう存続させていこうと考えているか</p> <p>(2) 町民、そして国や県に町の被災状況を的確に伝えること、被害の甚大さを理解していただくことは重要なことである。町としてどう取り組むか</p> <p>(3) 被災した町民の不安のひとつに復旧に係る費用の負担がある。災害にあった住宅、農地、森林に対する国・県、そして町の支援がどれくらいあるかが判りにくい。町民に対して、町としての説明をどのように行っていくのか</p> <p>(4) 火災訓練も重要だが、今回のような豪雨災害を想定した訓練が必要ではないか。実施する予定はないか</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p>